

冬のクマから体と命を守るための3ヶ条

冬休みに入る前に、子どもたちや保護者の方たちにも、注意点などについて伝えてください。きっと不安に思っているはずです。

早く冬眠して
くださ~い

冬のクマ出没は、どうなるのか？

12月に入って、目撃数が少し落ち着いてきたように見えるけど…。

ちゃんと冬眠するのか？ 知りたいところですよね。

そこで、クマの冬眠について、県内のデータを使って分かりやすく説明します。また「**冬のクマから体と命を守るための3ヶ条**」で、これからの注意点についてお伝えします。

12月に入って、市町村や地域によって

- ① 目撃がほとんどなくなった
- ② 何となく落ち着いてきた様子
- ③ まだまだ油断できない



きっと状況はマチマチでしょう。でも、気を緩められないのは、多くのクマが冬眠に入る一方、突然!! 住宅近くで目撃されたり、建物の中で発見されたりすること。そこで、**3ヶ条**では、どんな所にクマが出やすいのか？ 出没をいち早く見つける方法は？ など、皆さんのお役に立つ情報を、ちょっと詳しく解説しました。

● まず、「穴持たず」って何？

確かに、冬になると、クマは冬眠します。

でも、実際はもう少し複雑で、なかなか冬眠に入らないクマもいるのです。

獵師の言葉で「**穴持たず**」というのだそうです。

そもそも冬眠とは、秋のうちに木の実をたくさん食べて皮下脂肪を蓄え、エサの乏しい冬を生き延びるための生理（体のしくみ）だということはよく知られています。だから、ドングリ類が豊作の年には、クマの出没が少ない。凶作の年にはクマの出没が多いというのが知られています。ということは、**今年は凶作!! 穴持たずがたくさん出るはず!!** ところが、**不可解な現象**が、次のページにどうぞ ???



● 秋の不可解な現象 ???

今年の秋、11月になって、会津のある地域でクマの行動に不可解な現象が見られました。

県自然保護課が行っているクマのGPS調査(アーバンベア調査事業)で分かったことですが、

11月下旬ころから、何と!! クマが冬眠し始めたのです。今年はドングリ類が凶作という話は、ニュースでもよく放送されました。だから、多くのクマが空腹を抱えていたはずです。

えっ、「空腹なのに、冬眠する!?

実は、エサがないとクマは早めに冬眠するという話は、専門家の間ではよく知られています。それが今回のGPS調査で、実証されました。

でも、話はそれだけで終わりません。木の実が豊富だったR6年度、昨年のことですが、同じ調査エリアで、クマが冬眠に入ったのは12月中旬ころからでした。昨年と今年で、約1か月もの時差があったのです。なぜでしょうか? それが、次の項目に書かれた、もう一つの事実、まさに「守るための3ヶ条」のポイントになります。

● エサがあれば冬眠しないことも ??

空腹でも、満腹でも冬眠する。

それじゃ、もう安心だね。これからはクマの出没に悩まされることはない…。

早合点してはいけません。

エサがなければ冬眠する。裏を返せば、エサがあれば冬眠しないこともある、ということなのです。

実は、この点についても、福島県鳥獣保護センター(現在の野生生物共生センター)で、実証しました。

かつて保護していたクマに、冬の間もエサを与え続けて、冬眠することなく、活動的に冬を越せることができたのです。

この2つの事実 !!!

今年の冬はどうなるか? それが次に書かれたアーバンベアが決め手になると考えられます。

衛星を使ってクマの行動を調査



知れば知るほど難しい
でも、分かると面白い



福島県野生生物共生センター



(今は保護されているクマはいません)

● アーバンベアの正体とは

もう気づきましたね。
柿の木に登って、柿の実を食べている親子クマの
ニュースが頻繁に流れました。

アーバンベア。

里山から市街地周辺まで降りてきて、人の食べ物の味を学習してしまったクマです。夏はトウモロコシやスイカなどの畑の作物、モモやナシなどの果実、キャンプ場や観光地の生ゴミ、そして秋はブドウやカキ、くり、稻や米ぬか、畜舎では牛や豚の飼料などをねらって常習的に出没するようになりました。アーバンとはもともと都市という意味で、都市型クマという意味で使われているようです。

● なかなか冬眠しないクマのリスク



今年の秋はとにかくドングリが凶作ですから、**クマ同士で奪い合いが起こり**、若いクマや親子連れのクマは危険を承知で里地に下りることを選択したのでしょう。
そうです。冬になっても人の生活圏にエサがあれば、もともと空腹のクマですから、冬眠せずに里地に出没するでしょう。
しかも、この2-3年のことですが、行動は明らかにエスカレートしています。柿がなくなると、家や倉庫、時にはスーパーマーケットに入り込んでしまうクマもいるようです。



母グマから子グマに、アーバンベア学習



ママはたくさん教えて
くれるんだよ。

大人になっても..



そこで 第1条です。 誘引物に注意 !!

空腹のクマはエサを求めて、里地に下りました。

クマから見ればエサですが、人の側からすれば、クマを誘引してしまうもの、「誘引物」です。

何がクマの「誘引物」となるのかを考え、今一度お住いの周辺を観察してください。

勿論、誘引物を置いている場所が適切か、また戸締りなどの侵入防止対策も見直してください。



ニワトリ小屋



倉庫、穀入れの破壊と侵入
(米ぬか、玄ソバ、玄米)

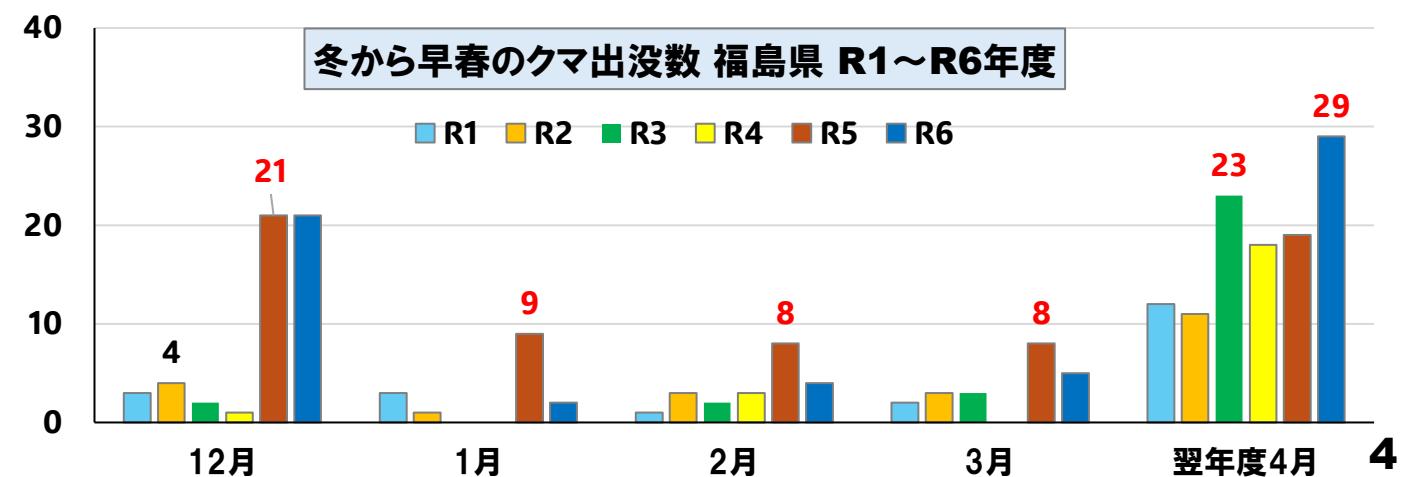


● ドキッ!! とするよ、このグラフ

それで、今年の冬はどうなるの ?

心配 😐 ですよネ。

予測は難しいのですが、このグラフは、横軸に月、縦軸に県警クマ目撃数。例えば12月を見ると、R5とR6年から急に目撃数が増えています。1~3月も、やはり以前とは違ってやや高めです。また、翌年4月に冬眠から目覚めるクマも多くなっているようです。



第2条です。建造物侵入に注意 !!

冬になれば、里地にもだんだんとエサが少なくなります。こうなると空腹でも冬眠しなければなりません。

しかし、若く経験の少ないクマや、母グマからはぐれてしまった幼グマがこれから山に行って、冬眠穴を見つけるのはもう至難のワザです。ですから、「仮ねぐら」と言うか、手短なところで冬眠するとすれば、空き家とか、あまり使われない倉庫、大きな民家の縁の下などでしょうね。



地域の人に声をかけて、
時々見回りをしましょう

重要!!

- ・戸締りと、空き家等では時々見回りを
- ・見回り時、建物中にクマがいる危険性も
⇒音をたててから（花火をうつ）近づく
- 周辺の観察（獣道、糞があるかどうか）

・また目撃情報は常に地域で共有しましょう

「こたつグマ」はR6年12月23日の発生でした。明け1歳の子グマです。



R6年12月2日 建造物内に居座るクマ 倉庫に体長約1メートルのクマ1頭を確認。



糞の溜まり具合
⇒常習的に利用か

● 冬になって、どんな所にクマが出やすいのか？

⇒ まず秋に里地や市街地で、とくに目撃情報が多かった地域は要注意でしょうね。また冬眠しないクマはアーバンベアの可能性が高いとすれば、なかでも体長が1m未満の若いクマや親子連れクマが出没していた地域もチェックしておきましょう。

● 出没をいち早く見つける方法は？

⇒ 早期発見できれば、大事になる前にリスクを減らすことができるでしょう。
実は、冬はフィールドサインが見つけやすくなります。 フィールドサインって知っていますか？

ちょっとした注意で、大事になる前の対策が効果的です



第3条。 フィールドサインに注意 !!

フィールドサインとは、クマが出没した後に残されている、足跡や糞などの痕跡のことです。雪が積もれば、フィールドサインが見つけやすくなります。また、建物に頻繁に出入りしている場合は、周辺に痕跡がたくさん残されています。

フィールドサインを見つけた場合やクマを目撃した場合は、最寄りの役場や警察に連絡して下さい。

代表的なフィールドサインが足跡です。
クマの足跡はとても特徴的です。

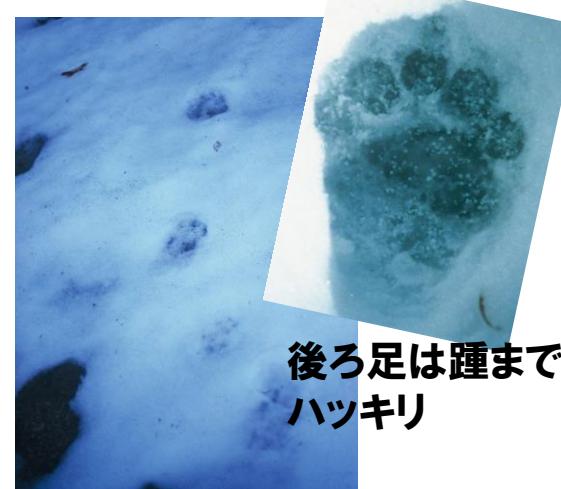


タヌキやキツネの足跡は指4本



クマの足跡は指5本、爪痕がくつきり
幅は9未満(チビクマ)~13cm(デカクマ)

雪の上に残されたクマの足跡
見つけやすい



後ろ足は踵まで
ハツキリ

糞の区別は難しいですが、
近くの足跡を見つけよう



フン
(食べたものがほぼそのまま出てくる。時間が経つほど表面から黒くなる。写真は柿のフン)

